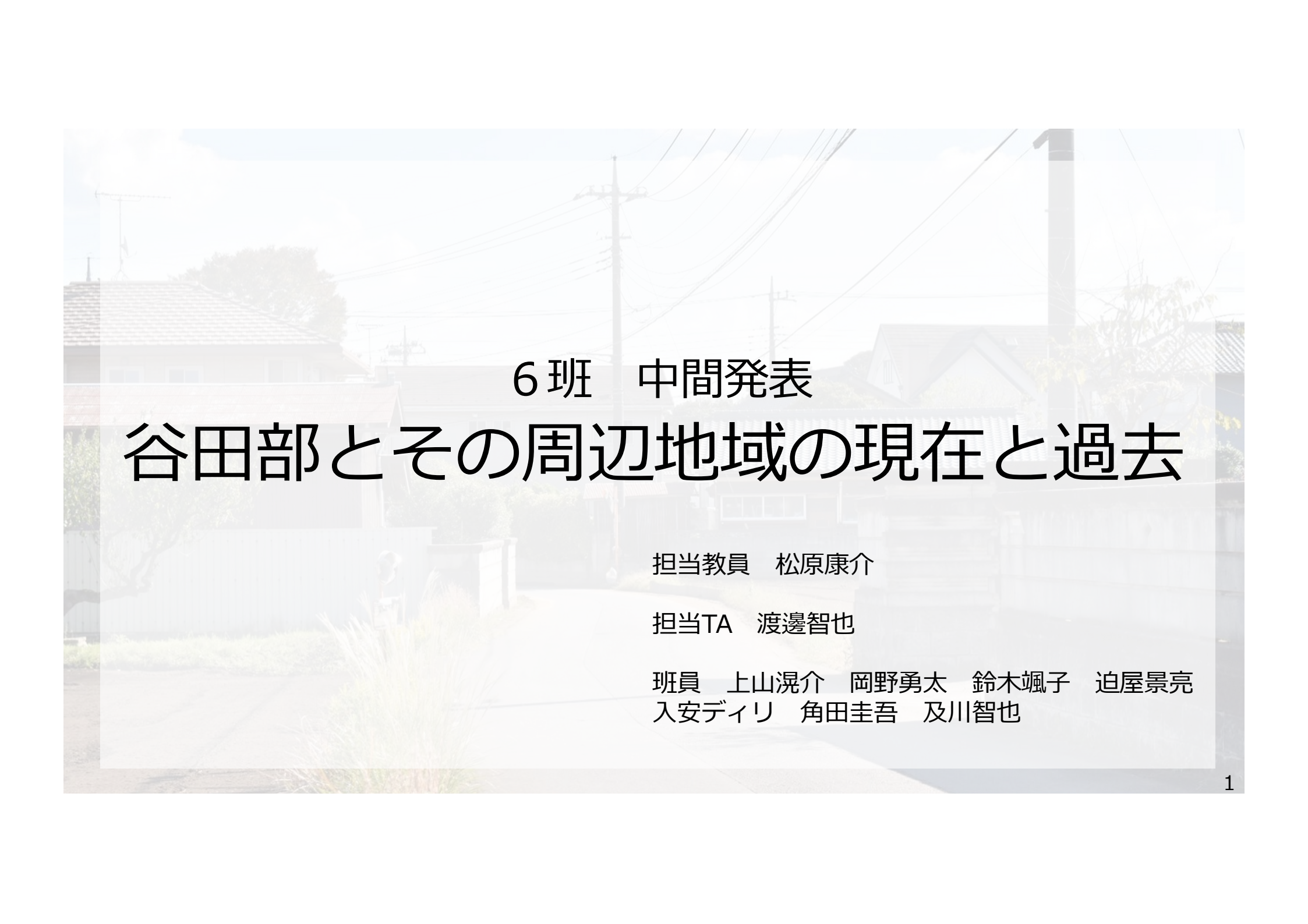




6班 中間発表

谷田部とその周辺地域の現在と過去

担当教員 松原康介

担当TA 渡邊智也

班員 上山滉介 岡野勇太 鈴木颯子 迫屋景亮
入安ディリ 角田圭吾 及川智也

発表の流れ

①研究動機

②目的

③調査方法

④調査の進捗

⑤今後の展望

＞ 研究動機



伊能忠敬によって作られた地図（1827年頃）

小さな集落のようなイメージ

歴史ある賑わいのあった
町だったのでは？

実際に谷田部へ行ってみると

▷歴史のある建物や長く続くお店

▷一方で、人通りが少なく営業していないような商店もあり、賑わいに欠ける

地図に地名が載るほどの存在感のある地域であった谷田部は何処へ...



谷田部街道



谷田部藩陣屋の玄関跡



創業130年の和洋菓子店

先行研究

- 『茨城県つくば市谷田部市街にみる往年のにぎわい』, 小口 千明, 高橋 淳, 上形 智香, 新宮 千尋, 中川 紗智 (2014)
→ 谷田部の「にぎわい」を歴史的視点から検討
- 『つくば市における商業地域構造の変化』, 高橋 信夫, 松村 公明, 吉村 忠晴, 側島 康子 (1992)
→ 既存の商業地区と新たな商業集積地における商業活動の変化

＞ 目的

先行研究

- 谷田部の歴史に関する研究で谷田部市街はかつて『にぎわい』が存在していた

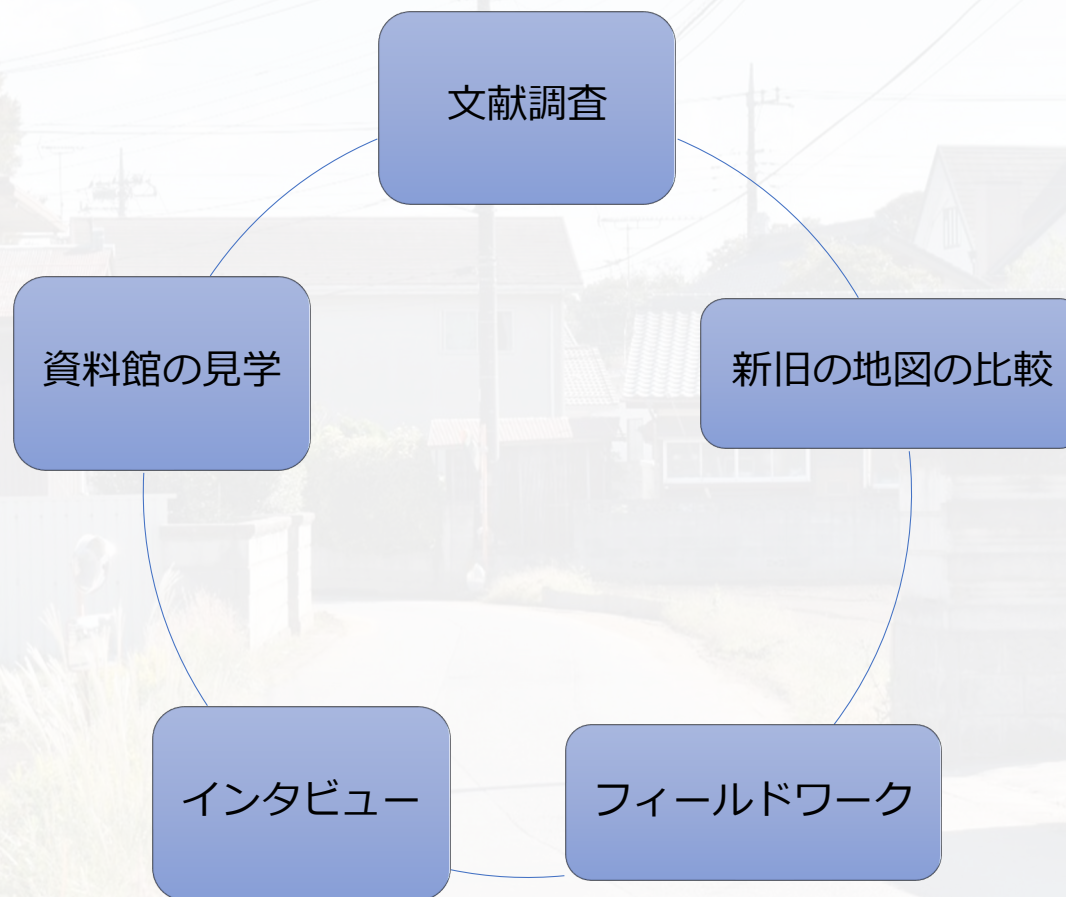
新旧の地図比較

- 谷田部地域内の昔の地図と現在の地図を比較する

土地利用の比較

- 土地利用の変化を明らかにする

＞ 調査方法



＞ 文献調査

☆ 谷田部の歴史と概要

江戸時代には陣屋町として栄える



明治時代では筑波郡の役所が設置



交通の結節点として賑わい、活気の溢れた時期が存在



☆谷田部の歴史と概要

大正時代以降、農村部との交易が盛んで
多くの牛馬商が居住

中心地には



など存在

1987年つくば市との合併時に市役所が置かれた

年	主な出来事	
1945	農地改革	-農村としての発展- -急激な都市化の進行- -高度経済成長期- -新たな開発の連続- -商業機能の衰退が進む-
1955	谷田部町・小野川町・真瀬村・島名村・葛城村が合併し谷田部町となる	
1958	建設基本計画書に工場誘致が登場	
1963	筑波が研究学園都市に指定	
1973	用地買収終了	
1980	筑波研究学園都市概成	
1981	谷田部インターチェンジ開通（柏-谷田部）	
1985	国際科学技術博覧会	
1987	つくば市発足	
2005	つくばエクスプレス開通（みどりの駅開業）	
2010	研究学園へつくば市役所移転	



昭和60年頃の谷田部商店街

☆土地利用と学園都市(地図での比較)



1960年代の谷田部

出典：国土地理院 航空写真

赤丸の地域（みどりの駅周辺）では開発が進んだ

現在の谷田部



時代が変わっても黒丸(谷田部市街地の中心地)の土地利用ははっきりしている

☆他地域との繋がりから見える中心性

○大正期の獣霊碑

商業地域であった谷田部への他地域から寄付
→多くは筑波郡の地域から

○1955年合併時の様子

他地域との力関係、谷田部への吸収合併
郡内の「政治」、「経済」、「文化」の中心



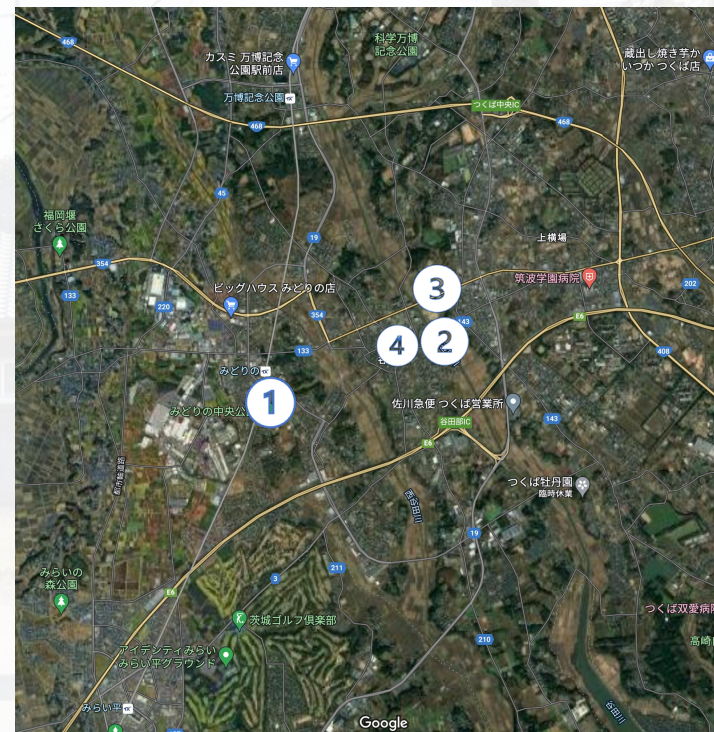
➤ 谷田部フィールドワーク（10/29）

①みどりの駅 新住宅街・旧地域

②商店街（街道）

③旧市役所

④五角堂、谷田部藩陣屋の玄関跡



谷田部フィールドワークの細部①-1

▷みどりの駅周辺の住宅街



新しい住宅が整然と
並んでいる。
道は太くまっすぐ。



谷田部フィールドワークの細部①-2

▷新しい住宅街のそばの旧住宅地域



昔のままの住宅。
緑が豊かで、道は狭く
曲がりくねっている。

谷田部フィールドワークの細部②

▷商店街（街道）



営業していない店が多々
車通りが多いが人通り少ない

谷田部フィールドワークの細部③

▷役所跡

役所跡は駐車場へ、近くには新しくできた交番が



谷田部フィールドワークの細部④

▷五角堂、谷田部藩陣屋の玄関跡

歴史的建造物も多々あり、歴史ある街であることがわかる



谷田部に住む人へのインタビュー

街の衰退と共に
お菓子屋では
後継の問題が

若者の多くは
サラリーマンへ



創業130年の和洋菓子店



谷田部に住む人へのインタビュー

交通量が多いが
歩行者は少ない

谷田部の商店街のみならず、
研究学園などに支店
を置いている

商店街の衰退は庁
舎がなくなったこ
とで更に深刻に



創業87年の酒屋



＞ 文献調査①

江戸時代 谷田部藩陣屋
明治時代 筑波郡の役所



その後もつくばの
中心地として栄えた

…しかし、研究学園都市構想により**谷田部に変化**が

＞ 文献調査②

現代の谷田部 開発が進む



区画整理
加速する現代的開発

➡ 自然発生的な旧住宅街と開発による計画的な地区の混在

＞ 今後の課題と展望

▷インタビューの改善

核心を迫る質問をするためにはどのような質問をすればいいのか

▷地図の更なる収集

あらゆる地図を更に収集し、
道路の関係から土地の変容まで分析することが必要

▷キーとなる時期の発見

キーとなる時期を考慮し、その前後で人々の暮らしや心理の変化を知ること
土地利用の変容が深くわかるのではないだろうか

▷谷田部とその周辺地域との関係の調査

＞ 参考文献

書籍名	著者	発行所	出版年
谷田部の歴史	谷田部の歴史編さん委員会	谷田部町教育委員会	1975
歩いて発見。谷田部街道めぐり 歴史編	谷田部市街地活性化協議会	谷田部市街地活性化協議会	2021
勘翁自伝:八十五歳のうは言	藤沢官兵衛	勘翁自伝刊行委員会	1990
茨城県市町村合併史	茨城県総務部地方課	茨城県総務部地方課	1958
茨城県つくば市谷田部市街にみる往年のにぎわい	小口 千明, 高橋 淳, 上形 智香, 新宮 千尋, 中川 紗智	歴史地理学野外研究	2014-03
谷田部陣屋	樋口山城守与六		2017
つくば市ホームページ			